

## JICA 草の根協力事業 採択案件決定

## 農業や教育等の関西の知見をアジア・アフリカへ

## —大阪、兵庫、京都、奈良から8案件を採択—

この度、国際協力機構(JICA)は、草の根技術協力事業(2019年度第2回募集)の審査を終え、関西では、大阪府3件、京都府1件、兵庫県3件、奈良県1件を採択致しました。

草の根事業とは、日本の NGO、自治体、大学、民間企業等から提案頂いた国際協力事業を、JICAの知見も活かして提案団体と共同で実施する事業です。開発途上国の支援ニーズが多様化する中、提案団体がこれまで培ってきた知見や技術を活かして、住民の目線に立ち、草の根レベルのきめ細やかな協力を行うことが特徴です。また、本事業の経験を踏まえ、日本の地域社会が直面する課題の解決や、地域活性化、地方創生に寄与することも期待されています。

今回初めて採択された団体は、Bokk Jambaar、大阪教育大学、近畿大学、三田市、吉野町となります。今後もより多くの団体が国際協力に参加頂けるよう取り組んで参ります。今回の採択案件は以下の通りです。(別添:関西8案件の概要表)

団体名	所在地	対象国	案件名
大阪教育大学	大阪府	ベトナム	日本型中核教員養成システムの導入によるベトナム教育改革支援事業
近畿大学	大阪府	カンボジア	カンボジア王立農業大学によるため池を活用した乾季農業の実証モデルの形成と地域での実証プログラムの実践
大阪府立大学	大阪府	ベトナム	官民の連携した取り組みによる、ハノイにおけると畜場及び周辺地域の衛生・環境改善
京都大学	京都府	マラウイ	未利用資源の活用による農業収入改善を通じたムジンバ県の小農の暮らし向上支援
一般社団法人 Bokk Jambaar	兵庫県	セネガル	セネガルのサヘル地域におけるマラリア予防啓発活動プロジェクト
兵庫県・NPO 法人 SEEDS Asia	兵庫県	フィリピン	フィリピンの被災地における災害遺構整備と気候変動へ対応した防災教育による学校防災強化事業
三田市・NPO 法人 グラスクラフト協会	兵庫県	パラオ	リサイクルセンターにおけるペラウ・エコ・グラス(廃ガラスを活用したガラス工房)の事業軌道化
吉野町	奈良県吉野町	ベトナム	ベトナム国ビンフォック省における木材関連企業の労働環境改善及び安全作業を介したワーカーの基礎能力向上事業

**【関連リンク】**

草の根とは？（各スキーム概要）

<https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/what/index.html>

JICA 関西 草の根技術協力事業（草の根協力支援型）採択案件一覧

<https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kusanone/shien.html>

JICA 関西 草の根技術協力事業（草の根パートナー型）採択案件一覧

<https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kusanone/partner.html>

JICA 関西 草の根技術協力事業採択案件一覧

<https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kusanone/tokubetsu.html>

**【本件に関するお問い合わせ先】**

JICA 関西 市民参加協力課（担当：橋本／青木）

TEL:078-261-0384 FAX:078-261-0357

e-mail: [Hashimoto.Hidenori@jica.go.jp](mailto:Hashimoto.Hidenori@jica.go.jp) / [Aoki.Tomohiro@jica.go.jp](mailto:Aoki.Tomohiro@jica.go.jp)

## 草の根技術協力事業 関西8案件の概要

大阪府			
提案団体/実施団体	対象国	案件名	事業概要
大阪教育大学 (柏原市)	ベトナム	日本型中核教員養成システムの導入によるベトナム教育改革支援事業	ベトナムでは小学校の教育指導要領が2018年に改訂され、知識詰め込み型から自発性を重視する教育への移行が進められている。本事業では、大阪教育大学の知見（教授法、教材）を活かして現地の教員養成の質を向上させると共に、日本で行われている「教員間で学び合う仕組み」を導入する活動を行う。同大学の学生も参画し、ベトナムの学生との交流やベトナムの教育についての理解促進も図る。
近畿大学 (東大阪市)	カンボジア	カンボジア王立農業大学によるため池を活用した乾季農業の実証モデルの形成と地域での実証プログラムの実践	カンボジアでは、1970年代以降の内戦により、ため池を活用した乾季の農業様式が崩壊。本事業では、近畿大学農学部とカンボジア王立農業大学との協力関係を活かし、従来の様式を活かした農業モデルの再構築を図り、地域の高校においてその有効性を実証することを目指す。その過程では、双方の大学生及びカンボジアの高校生も参画する予定。
大阪府立大学 (大阪府)	ベトナム	官民の連携した取り組みによる、ハノイにおけると畜場及び周辺地域の衛生・環境改善	ベトナムのハノイ等都市部では、食肉の消費量が増加する一方、近郊にあると畜場の排水による河川の水質汚染が深刻な問題となっている。本事業では、大阪府立大学や関西の地場企業が有する知見、技術を活かし、ハノイ市の関係部局やと畜場に対して、排水処理及び食肉の加工や衛生管理に関する技術支援を行い、と畜場の環境に配慮した運営管理と近隣の環境を改善することを目的としている。
京都府			
京都大学 (京都市)	マラウイ	未利用資源の活用による農業収入改善を通じたムジンバの小農の暮らし向上支援	マラウイでは、農業生産性の低さや、トウモロコシに依存した収入の不安定さが課題となっている。本事業では、京都大学大学院地球環境学部の知見を活かし、同国地方都市にて、有機肥料の活用や作物の多角化を通じた小農の収入改善を図る。本邦研修の際には、環境保全や高付加価値型の農業を行う京都府や南あわじ市の団体・農家も訪問する予定。
兵庫県			
一般社団法人Bokk Jambaar (神戸市)	セネガル	セネガルのサヘル地域におけるマラリア予防啓発活動プロジェクト	提案団体は、JICA海外協力隊としてセネガルで活動したメンバーによって2013年に設立され、セネガルと日本の架け橋になるべく活動している。セネガルの北部砂漠地域では、マラリアの予防に関する地域住民の知識・理解不足が原因となり、感染予防対策が十分機能していない。本事業では、マラリア予防指導員を育成し、住民自らが効果的な感染予防法を実践できるようになることを目的としている。
兵庫県 NPO法人SEEDS Asia (神戸市)	フィリピン	フィリピンの被災地における災害遺構整備と気候変動へ対応した防災教育による学校防災強化事業	兵庫県と実施団体であるSEEDS Asiaは、2014年よりフィリピン共和国セブ州において、学校における防災体制整備と防災教育の強化に取り組んできた。本事業では、これまで実施してきた事業の成果を踏まえつつ、兵庫県が培ってきた災害遺構の整備と活用の知見に加え、気象情報の理解促進によって、児童・生徒やコミュニティの人々が、災害時に命を守る行動をとれるようになることを目指す。
三田市 NPO法人グラスクラフト協会 (三田市)	パラオ	リサイクルセンターにおけるベラウ・エコ・グラス（廃ガラスを活用したガラス工房）の事業軌道化	兵庫県が姉妹・友好提携を結ぶパラオに対し、三田市及び三田市ガラス工芸館は、2017年8月よりJICA海外協力隊を派遣し、現地のガラス工房に工芸技術を提供してきた。その中で、パラオから三田市へ更なる支援要請があり、本事業では、工芸技術に加え、廃ガラスを活用した工房でのリサイクル事業の確立を目指す。三田市へ招聘して研修を行う予定であり、都市間の更なる関係強化が期待される。
奈良県			
吉野町	ベトナム	ベトナム国ビンフォック省における木材関連企業の労働環境改善及び安全作業を介したワーカーの基礎能力向上事業	吉野町は、木工技術の海外展開を目指し、ベトナム南部のビンフォック省へ技術移転を進めている。現地の木材加工業のスタッフは危険な環境での作業が多く、早期離職が課題となっている。本事業では、吉野町の知見を生かし、木工の5S安全衛生講習や啓発活動を行い、現地企業の労働環境改善を支援する。労働者の安全確保は、より良質な木材製品を作るための人材確保にもつながる。本事業と並行して、吉野製材工業協同組合は、JICAの民間連携スキームを通じて現地の市場調査も実施することになっており、これらを通じた吉野材の海外展開が期待される。